

# 2019(平成31)年度 沖縄国際大学入学試験問題（前期）

地域行政学科・経済学科・産業情報学科・日本文化学科・人間福祉学科(福祉)

## 【選択科目：世界史 B】

### 注 意 事 項

1. 試験開始の合図があるまで、この問題冊子の中を見てはいけない。
2. 入学志願票及び受験票に記入された科目を解答すること。
3. 入学志願票及び受験票に記入された以外の選択科目を解答した場合は、無効とする。
4. 筆記用具は、鉛筆（HB）または、0.5 ミリのシャープペンシル（HB）に限る。
5. 問題の印刷不鮮明、ページの落丁・乱丁に気付いた場合は、手を挙げて監督者に知らせること。
6. 問題冊子の余白等は適宜利用してもよい。
7. 試験終了後、解答した解答用紙のみを提出すること。問題冊子は持ち帰ること。



## 2019(平成31)年度 沖縄国際大学入学試験問題(前期)

### 地域行政学科・経済学科・産業情報学科・日本文化学科・人間福祉学科(福祉) 【世界史B】

※ 解答はすべて解答用紙に記入すること。

I. ローマの歴史に関する次の各文を読み、下線部の正誤を判断して、誤っているものの番号と正しい語句を答えなさい。(番号1点、語句2点)

問1 都市国家ローマは、①ラテン人の定住によって形成された。当初は、先住のエトルリア人の王に支配されていたが、のちに王を追放して②共和政となった。ローマ市民は貴族と平民から構成されていたが、政治・軍事を統括した③護民官や最高決定権を有する④元老院の議員などは貴族によって独占された。

問2 ローマの軍事制度である①重装歩兵のもとで従軍した平民の政治的要求が高まり、貴族との間に対立が生じた。この結果、貴族は平民会の設置を承認し、前5世紀半ばには②十二表法が制定され、従来の慣習法が成文化された。また、前3世紀には③リキニウス＝セクスティウス法が制定され、平民会の決議が国法として認められることとなった。しかし、こうした事態は、上層平民が貴族とともに④ノビレスを構成し、実権をにぎる寡頭政を継続する結果となった。

問3 ローマの軍事力の主体だった中小土地所有者の没落に危機感をいだいた①マリウスは、土地所有農民層を再建しようとしたが、反対派の抵抗で失敗に終わった。この結果、ローマ社会の経済格差がさらにひろがった。有力者は、平民の権利を拡大しようとする平民派と、元老院の権威を守ろうとする②閥族派に分かれて対立した。他方、イタリア半島の同盟都市がローマ市民権を要求して同盟市戦争が発生し、③スパルタクスの反乱のような奴隷反乱も相次ぎ、この時期のローマは④「内乱の1世紀」と呼ばれる混乱状態だった。

問4 カエサルは、ポンペイウスや①クラッススと盟約を結び、三頭政治を実現した。その後、カエサルは②ガリア遠征に勝利して有力となり、元老院と結んだポンペイウスを倒して③独裁官に就任し、さまざまな改革に取り組んだ。カエサルが保守派のブルトゥスらによって暗殺されると、カエサルの息子であるオクタウィアヌスが第2回三頭政治で頭角を現したのち、アントニウスを④サラミスの海戦で破り、内乱の終結に成功した。

Ⅱ. 下の枠内の内容は、ある高校生が世界史の授業のなかで十字軍について調べた結果をまとめたものである。これに関する後の問いに答えなさい。

テーマ：十字軍の展開

【背景】

- (1) 西ヨーロッパ世界におけるキリスト教の拡大と宗教的情熱の高まり
- (2) セルジューク朝による聖地支配とアナトリア進出

【経緯】

1095 年 クレルモン公会議の開催

1096 年 第1回十字軍 → A 王国の建設

1189 年 第3回十字軍 → 聖地奪回に失敗

1202 年 第4回十字軍 → コンスタンティノープルを占領、聖地回復という目的からはずれる

1291 年 最後の拠点アッコが陥落 = 十字軍の終了

【影響】

- (1) 教皇の権威の低下
- (2) 東方貿易の活発化
- (3) イスラーム文化の流入

問1 【背景】の(1)の事例として適切なものを、次の中から1つ選び、記号で答えなさい。(2点)

ア. ピピンがラヴェンナ地方を教皇に寄進した。

イ. 教皇グレゴリウス7世が、聖職者叙任権をめぐる神聖ローマ皇帝ハインリヒ4世と対立した。

ウ. イベリア半島でレコンキスタ（国土回復運動）が展開された。

エ. ルターが「95か条の論題」を発表した。

問2 下記の資料は、【経緯】のなかにある「クレルモン公会議」でおこなわれた教皇ウルバヌス2世の演説である。この資料を読み、十字軍に多くの人が参加した理由を答えなさい。  
(4点)

(前略) 必要なことは、東方の地に住むあなた方の兄弟たち(中略)のもとへ、馳せ参じて助けることである。なぜならあなた方の多くが聞きしっている通り、ペルシアの民であるトルコ人が、地中海(中略)まで至り彼らを襲ったからである。トルコ人はロマニアの国境地帯でキリスト教徒たちの土地をますます占領し、すでに7度に及ぶ戦いで敗れた側を征服し、多数の者を殺しあるいは捕らえ、教会を破壊しては神の王国を掠奪した。無論、彼らをそう何時までも無事に放っておくのなら、彼らはいっそう広範囲に神の信徒を征服するであろう。この件について、このへりくだった懇願により促すのは、私ではなく主ご自身である。騎士であれ歩兵であれ、富者であれ貧者であれ、どんな階層であれすべての者たちに対し、あなた方には、キリストの伝令として、繰り返し述べて、こう説いていただきたい。その邪悪な民族をわれわれの土地から追い払うため、キリストの崇拝者たちを、機を逸せず助けるべく務めるようにと。今ここにいる方々には私が直接語りかけ、不在の方々には指図を出そう。キリストが命じておられるのだと。ところで、その地に赴くすべての者には、たとえ旅の途上あるいは航海の途中で、または異教徒に対する戦いで、死に遮られて生涯を終えたとしても、即座に罪の赦免が与えられるだろう。(下略)

〔出典：歴史学研究会編『世界史史料5 ヨーロッパ世界の成立と膨張 17世紀まで』岩波書店、2007年〕

問3 1096年の第1回十字軍の結果建設された  王国に入るのに適切なものを、次の中から1つ選び、記号で答えなさい。(2点)

ア. イエルサレム      イ. ローマ      ウ. アレクサンドリア      エ. アンティオキア

問4 【経緯】のなかにある「第4回十字軍」で、「コンスタンティノープルを占領」することになった理由について説明しなさい。(4点)

問5 【影響】の各項目の具体的な事例としてもっとも適切なものを、それぞれ1つ選び、記号で答えなさい。なお、選択肢の中には、どの項目とも関係のないものも含まれている。  
(各2点)

- ア. イタリアでは都市国家が支配的な国家形式となり、ヴェネツィアなどの都市共和国が形成された。
- イ. イングランドでは、ジョン王がマグナ=カルタ(大憲章)を認めさせられた。
- ウ. 教皇ボニファティウス8世が、聖職者課税問題で対立したフランス王フィリップ4世によって、アナーニで捕らえられた。
- エ. アリストテレスを中心とするギリシア哲学が、ラテン語に翻訳された。
- オ. 神聖ローマ皇帝カール4世が、金印勅書を出して、七選帝侯による皇帝の選挙制度を定めた。

Ⅲ. 次の資料は、1862 年におこなわれた「鉄血演説」である。この資料を読み、後の問いに答えなさい。

(前略) ともかく、①プロイセンでは個々人の自主性が強いために、立憲政治を行うことが難しくなっております…… 憲法の危機は決して恥辱ではなく、名誉なことであります。(中略) われわれには、われわれの貧弱な身体には大きすぎる軍備を担おうとする熱血がありますし、とくにそうすることを好んでおります。われわれはたしかにそれを利用しさえすればよいのです。ドイツが注目しているのはプロイセンの②自由主義ではなくて、プロイセンの力であります。バイエルンやヴュルテンベルク、バーデンは自由主義を欲しいままにしているでしょうが、それだからこそ、これらの諸邦国にプロイセンの役割を割り当てるものなどは誰もいないでありましょう。(中略)③ウィーン[会議]の諸条約によるプロイセンの国境は、健全な国家の営みのためには好都合なものではありません。現下の大問題が決められるのは、演説や多数決によってではなく—これこそが④1848 年と 1849 年の重大な誤りだったのですが—、まさに鉄と血によってなのであります。(下略)

[出典：歴史学研究会編『世界史史料 6 ヨーロッパ近代社会の形成から帝国主義へ 18・19 世紀』岩波書店、2007 年]

問 1 この演説をおこなった政治家の名前を答えなさい。(2 点)

問 2 資料中の下線部①について、プロイセンについて述べた次の各文のうち、正しいものをすべて選び、記号で答えなさい。なお、選択肢には誤りを含むものが必ずあるため、すべてが正しいとして解答した場合は 0 点とする。(6 点)

- ア. プロイセン王国は、ホーエンツォレルン家のブランデンブルク選帝侯国が、ドイツ騎士団領のプロイセン公国と合邦し、1701 年に神聖ローマ皇帝から王位を与えられて成立した。
- イ. フリードリヒ 2 世は、「君主は国家第一の下僕である」と述べるなど、啓蒙専制君主の典型とされた。
- ウ. フリードリヒ 2 世はスペイン継承戦争に介入し、鉱工業地帯のシュレジエンの獲得に成功した。
- エ. ナポレオンの侵攻に敗れたプロイセンは、1807 年にティルジット条約を結び、領土の大半を失い、ワルシャワ公国を設立させられた。
- オ. ナポレオン戦争でフランス軍の駐留を余儀なくされたプロイセンではナショナリズムが芽生え、マルクスが「ドイツ国民に告ぐ」と題した演説をおこなった。

**問3** 資料中の下線部②について、自由主義者の代表によって国民議会が開催された都市として適切なものを、次の中から1つ選び記号で答えなさい。(2点)

ア. ベルリン                      イ. ウィーン                      ウ. フランクフルト                      エ. ミュンヘン

**問4** 問3の国民議会ではドイツ統一の方法について議論された。しかし、その方法をめぐって対立が生じたが、その対立の内容について説明しなさい。(4点)

**問5** 資料中の下線部③について、ウィーン会議について述べた次の各文のうち、誤りを含むものを1つ選び、記号で答えなさい。(3点)

- ア. この会議はオーストリアのメッテルニヒが主宰し、ウィーン議定書が調印された。
- イ. 議定書の基本原則は正統主義と民族自決だった。
- ウ. ドイツでは神聖ローマは復活せずに、35か国と4自由都市によるドイツ連邦が結成された。
- エ. 革命の再発を恐れる各国の君主が、ロシア皇帝アレクサンドル1世の提唱により神聖同盟に加入した。

**問6** 資料中の下線部④について、次のうち、1848年のできごととして適切ではないものを1つ選び、記号で答えなさい。(3点)

- ア. イギリスで穀物法が廃止される。
- イ. フランスで二月革命がおこる。
- ウ. ウィーンで三月革命がおこる。
- エ. マルクスとエンゲルスが『共産党宣言』を発表する。

Ⅳ. 第1次世界大戦と戦後の世界に関する次の各文を、その出来事がおきた順番に並べかえたと  
き、2番目にくるものを1つ選び、記号で答えなさい。(各2点)

- 問1 ア. オーストリアがセルビアに宣戦布告した。  
イ. オーストリアの皇位継承者夫妻が、セルビアの青年によって暗殺された。  
ウ. ドイツがロシア、フランスに宣戦布告した。
- 問2 ア. 日本がシベリア出兵をおこない、対ソ干渉戦争に加わった。  
イ. 日本が袁世凱政権に21か条の要求を提出した。  
ウ. 日本が日英同盟を理由に、ドイツに宣戦布告した。
- 問3 ア. アメリカがドイツに宣戦布告した。  
イ. ドイツはマルヌの戦いでフランス軍の反撃を受けた。  
ウ. ドイツが無制限潜水艦作戦を開始した。
- 問4 ア. イギリスがバルフォア宣言を出した。  
イ. 英、仏、露の3か国でサイクス＝ピコ協定が締結された。  
ウ. ロンドン秘密協定が締結された。
- 問5 ア. ロカルノ条約が締結された。  
イ. ワシントン海軍軍縮条約が締結された。  
ウ. ヴェルサイユ条約が締結された。



V. 中国史に関する次の4つの文章を読み、後の問いに答えなさい。

- (1) 前3世紀末に登場した漢は、前の王朝である秦の急激な統一政策の失敗を教訓とし、郡県制と封建制を併用した〔 A 〕制を採用した。しかし、前154年に〔 B 〕の乱を平定した後には、実質的に郡県制とかわらない中央集権体制をしくことに成功した。漢は、前2世紀後半の武帝の時代、匈奴を撃退し、①朝鮮半島へ4郡を設置し、南越を征服してベトナム北部へ進出するなど、その領土を大きく拡張した。

問1 文中の空欄A・Bに適切な語句を入れなさい。(各2点)

問2 下線部①を設置するに際して武帝が滅ぼした中国にルーツをもつ朝鮮半島の勢力として正しいものを、次の中から1つ選び、記号でなさい。(2点)

ア. 朴氏朝鮮                      イ. 衛氏朝鮮                      ウ. 李氏朝鮮                      エ. 閔氏朝鮮

- (2) 後漢が滅んだ後、中国は分裂時代にはいったが、5世紀前半には、〔 C 〕の第3代皇帝である太武帝が華北を統一した。第6代の孝文帝は、農民生活の安定と税収確保を目指した土地制度として485年に〔 D 〕制を定めた。当時その成果は部分的なものであったが、この制度は隋や唐の時代をへて整備され、租庸調制や府兵制とともに、②律令体制の重要な基礎となった。

問3 文中の空欄C・Dに適切な語句を入れなさい。(各2点)

問4 下線部②に関連する説明として正しいものを、次の中から1つ選び、記号で答えなさい。  
(2点)

- ア. 「律」とは一般に現在の刑法を意味している。  
イ. 府兵制とは、東晋に起源をもつ軍隊制度である。  
ウ. 唐代の三省六部制度における「門下省」とは、皇帝の詔勅を執行する部署である。  
エ. 租庸調制の「調」とは、国から土地を与えられた丁男に課された「労役」を意味する。

- (3) 紅巾の乱にはじまる諸反乱によってモンゴル帝国が崩壊するなか、貧農出身の〔 E 〕が1368年に明朝を建てた。明朝では、元末以来の混乱をおさめるために、六部を皇帝に直属させて権力集中を進め、農村に対しては里甲制を実施して租税台帳・土地台帳を整備し、さらに六諭を制定して民衆教化が図られた。他方で明朝は、〔 F 〕政策を採用して民間の海上交易を制限する一方で、③朝貢貿易を積極的に推進した。

問5 文中の空欄 E・F に適切な語句を入れなさい。(各2点)

問6 下線部③に関連する説明として正しくないものを、次の中から1つ選び、記号で答えなさい。(3点)

- ア. 朝貢とは、周辺国が中心国に使節を送り貢物を献上することを意味している。
- イ. 琉球は、三山統一以前に始まる明朝との関係を基礎に、中継貿易を展開した。
- ウ. マジャパヒト王国は、明朝との関係をもとに、東南アジア最大の貿易拠点となった。
- エ. 鄭和は、インド洋やアフリカ沿岸へも朝貢勧誘のための遠征をおこなった。

- (4) 孫文らが主導した〔 G 〕革命をきっかけとして、1912年1月に中華民国が建国された。しかし、北洋軍を掌握する袁世凱の独裁や軍閥の割拠、さらには日本軍の侵攻により、その統治は十分には機能しなかった。その間、④中国国民党と中国共産党は二度の国共合作を実現させたが、日本の敗戦後におこなわれた両者の協議は決裂し、国共内戦に突入した。1949年、この内戦に勝利した中国共産党を主体として中華人民共和国が建国され、蒋介石の中華民国政府は〔 H 〕に逃れることになった。

問7 文中の空欄 G・H に適切な語句を入れなさい。(各2点)

問8 下線部④に関連する文章として正しいものを、次の中から1つ選び、記号で答えなさい。  
(2点)

- ア. 1905年、孫文はハワイにおいて、中国同盟会を結成した。
- イ. 1921年、周樹人を指導者として、中国共産党が結成された。
- ウ. 1924年、毛沢東は国民党員が個人の資格で共産党に入党することを認めた。
- エ. 1936年、張学良らによる西安事件をへて、国民党と共産党は再接近することになった。

Ⅵ. インドに関する次の各文の正誤を判断し、a・bともに正しいときはア、aのみ正しいときはイ、bのみ正しいときはウ、a・bともに正しくないときはエと答えなさい。(各3点)

- 問1 a) 前6世紀から前5世紀ころのインドでは、バラモンの権威を否定する動きとして、ガウタマ=シッダールタの唱えた仏教や、ナーガールジュナを始祖とするジャイナ教が栄えた。
- b) 前4世紀の終わり、アレクサンドロスの大遠征をへたインドでは、最初の統一王朝であるマウリヤ朝が、チャンドラグプタ王によって建てられた。
- 問2 a) クシャーナ朝の時代には、王朝による保護のもとで大乘仏教が栄えるとともに、ヘレニズム文化の影響を受けたガンダーラ美術が開花した。
- b) 4世紀から6世紀にかけて北インドを支配したグプタ朝では、文学や文法学・数学などが発達し、ゼロの概念も生み出された。
- 問3 a) 仏教を学ぶために中国の僧侶たちがインドを訪れたが、6世紀半ばに始まるバクティ運動により、仏教やジャイナ教は衰退し、ヒンドゥー教の優位が確定した。
- b) 8世紀以降のインドでは、ヒンドゥー教を信仰する諸勢力が反目しあい、長期の分裂が続いた。
- 問4 a) イスラム勢力が進出したインドでは、ムガル帝国のアクバルやシク教の教祖ナーナクに代表されるように、ヒンドゥー教の排斥が進んだ。
- b) ムガル帝国時代には、ムガル絵画やタージ=マハルに代表されるようなインド=イスラム文化が開花した。
- 問5 a) 民族的な自覚をもつインド人エリートと、これを植民地支配の協力者として利用しようとするイギリス側の意図が一致し、1885年にインド国民会議が結成された。
- b) インドは1947年に、ヒンドゥー教を主体とするインド連邦と、イスラム教徒によるバングラデシュという2国に分かれて独立することになった。